

教科名	グローバル・スタディ	学年	第1学年	教科担当者：亀山 由花
-----	------------	----	------	-------------

《学習目標》

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考え方などを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

《年間授業実施計画》

月	単元名・教材名等	学習内容・項目等	学習ポイント・その他
4	Get Ready	小学校の復習 自己紹介	相手のことをよく知ったり、自分のことをよく知ってもらったりするために、相手のことについて知りたいことを質問したり、その質問に適切に答えたりすることができる。
5	①友達を作ろう	I am ～. I'm not ～. You are ～. Are you ～. Where～? (be 動詞の肯定文・否定文・疑問文)	友達の素敵な一面を知るために、相手の情報を得るための質問をしたり、その質問に答えたりすることができる。
6	②I-Bの生徒たち	I have ～. I don't ～. Do you ～? When do you ～? (一般動詞の肯定文・否定文・疑問文)	「G・Sキャラクター総選挙」に向けて、ALT の先生やクラスメイトに自分のオリジナルキャラクターをアピールするために、特徴やできること、得意なことなどについて、発表することができる。また、投票するキャラクターを決めるために、キャラクターの特徴やできること、得意なことなどについての発表を聞いて、概要を捉えることができる。
7	③タレントショーを開こう	I can ～. Can you ～? What can you ～? (can を使った肯定文・否定文・疑問文)	
8	④Let's Enjoy Japanese Food.	Is that ～? No, it isn't. This is ～. (身の回りの物を紹介)	交換留学生が日本への理解を深められるように、日本の特徴的なものや人について、事実や経験をもとにしながら紹介することができる。
9	⑤Pajama Day	Who is ～? She is ～. (友だち等を紹介)	
10		She cooks ～. She doesn't make ～. Does he make ～? Yes, he does. (三人称単数現在形の肯定文・否定文・疑問文)	小学校6年生が中学校の授業や生活をイメージできるように、中学校の先生や学校行事等について、事実をもとに紹介することができる。また、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある紹介文を書くことができる。
11	⑥The Way to School	him, her (人称代名詞) Why do you ～? Because ～? There is [are] ～. How can we ～?	アニメフェスタで日本のアニメや漫画の面白さや特徴などを知ってもらうために、○○(アニメや漫画名)の登場人物などについて質問したり、相手からの質問に答えたりすることができる。
12	⑦Research on Australia	I'm studying. I'm not doing～. Are you studying? What are you doing?(現在進行形の肯定文・否定文・疑問文)	海外の人にさいたま市や日本について興味をもってもらうために、おすすめスポットや行事などについて発表することができる。
1	⑧Happy New Year!	I stayed ～. I had ～. Did you eat ～? I didn't eat ～. (一般動詞の過去形の肯定文・否定文・疑問文)	World Festival で○○(国名)について興味をもってもらうために、○○(国名)の祭りについて調べたことをもとに簡単に紹介したり、聞き手からの質問に適切に答えたりすることができる。
2	⑨A Trip to Finland	I was ～. You were ～. Were you ～? I wasn't. What were you doing? I was studying ～.(be 動詞の過去形の肯定文・否定文・疑問文)	ハミルトン市の交換留学生とさらに親交を深めるために、相手のメールから必要な情報を読み取り、自分の考えや気持ちなどが伝わるように返事を書くことができる。
3	⑩ Grandma Baba's Warming Ideas!		海外の友達に自分のことや日本の学校のことを知ってもらうために、「私のおとのおきの写真」について、事実や経験、自分の考えなどを整理して発表したり、その発表を聞いて概要を適切に捉えたりすることができる。

《評価の観点および具体的な評価方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

評価の観点	具体的な評価方法
観点1	・リスニング・リーディング・スピーキングテスト（パフォーマンステストを含む） ・小テスト、休み明けテスト、定期テストなど
観点2	・単語・熟語・文法を理解し、正しく使えているか ・言語活動での達成度 ・英作文
観点3	・コミュニケーション活動への取り組み ・日々の授業の様子

《教科の約束事》

● 授業のルール

① Enjoy your mistakes. （間違いを恐れない。間違いを楽しむ。）

→ 普段の授業でどんなに間違えても成績が悪くなることはありません。むしろ、積極的な姿勢が評価されます。

② Everyone's English is beautiful. （みんなの英語は美しい。）

→ 間違えながら上達していくものです。

③ Quick response. （素早く反応する。3秒以上の沈黙はNG！分からなくてもなんとかリアクションで反応する）

○ その他

・ 欠席等で小テスト、パフォーマンステストが受けられなかった場合は、原則として、次の授業で受ける。（定期テストのルールを参考にします）

→ 休んでいたもので用意していないなど、困ったときは先生に相談しましょう。

・ プリント（テスト返却等を除く）を配付する際は欠席した場合にも必ず机の中に入れておきます。